

建設関係者として必須の「安全」に関する 知識保有と理解を認証

建設セーフティオフィサ資格認証制度スタート

一般社団法人セーフティグローバル推進機構(IGSAP・会長/向殿政男)は、建設における発注者、元請事業者及び関係請負人など多くのステークホルダーの安全に対する知識保有と理解の確認を目的とした要員教育認証システム「建設セーフティオフィサ資格認証制度」を制定・制度化し2024年11月11日より運営を開始します。この制度の運営はIGSAPから業務委託された指定評価機関、日本認証株式会社(代表取締役社長:赤松浩二)が行います。

建設業における労働災害は、関係者の長年にわたる努力により大きく減少してきましたが、近年は減少が鈍化傾向にあり、昨年の休業4日以上死傷者数は1万4千人を超える状況にあります。

IGSAPでは、働く人の安全・健康・ウェルビーイングを提唱し推進していますが、この中の建設委員会では労働災害の削減が主要なテーマであり、その取り組みの一環として建設関係者を対象とした新しい安全要員認証制度の創設に至りました。

建設関係者が安全を学び理解することにより、建設工事現場での災害発生を未然に防ぎ、安全化への推進効果が高まり、安全性だけでなく生産性の向上など、企業の成長や価値向上をもたらす効果が期待できます。

□本資格制度は職務に応じて3つの資格区分を設定


職務に応じた3つの資格区分			
資格	 建設セーフティエグゼクティブ(SE-C)	 建設セーフティマネージャ(SM-C)	 建設セーフティスタッフ(SS-C)
資格対象者	工事の発注に関わる組織の幹部 工事を請負う店社の経営幹部・責任者・管理者	工事の発注に関わる組織の責任者・管理者 工事(現場作業)管理組織の責任者・管理者	ー 工事(現場作業)管理に関わる実務担当者

□資格取得は、eラーニングで建設安全四学を学び、Webで試験

【時間・場所を選ばず、理解・知識習得ができ、試験を受験できます。】

eラーニング講師陣 「安全四学」 「安全学」の第一人者である 向殿政男先生 (明治大学 名誉教授(工学博士)) + 「建設安全」 「労働安全・建設安全」に関する エキスパート	①基礎安全学 ・安全の大前提と安全目標 ・安全とリスクの定義 ・安全における役割と責任 ・建設分野における基礎安全学	②経営安全学 ・安全は価値だ ・ヒューマンエラーと教育 ・マネジメントシステムとリスクアセスメント ・建設分野における経営安全学
	③社会安全学 ・安全の社会制度 ・安全と責任 ・事故調査の機構・制度 ・建設分野における社会安全学	④構築安全学 ・リスクアセスメントの考え方 ・リスク低減とスリーステップメソッド ・残留リスクの管理 ・建設分野における構築安全学

□資格別の受験科目数、受験時間、試験時間



安全四学	セーフティエグゼクティブ資格 (SE-C)		セーフティマネージャ資格 (SM-C)		セーフティスタッフ資格 (SS-C)	
	受講科目数	受講時間	受講科目数	受講時間	受講科目数	受講時間
基礎安全学	16	1時間46分	18	2時間01分	13	1時間28分
経営安全学	19	1時間49分	12	1時間10分	6	39分
社会安全学	10	1時間00分	11	1時間12分	7	50分
構築安全学	19	2時間23分	25	2時間55分	23	2時間42分
合計	64	6時間58分	66	7時間18分	49	5時間39分

※受講科目数及び受講時間は変更する場合があります。なお、1科目の受講時間は5～10分程度です。

Web 試験時間	1 時間以内 (各資格共通)
-----------------	-----------------------

◆問い合わせ先 セーフティグローバル推進機構 TEL06-6399-1211 大阪市淀川区西宮原 2-7-5

□建設委員会(参加企業名・順不同)

- * 清水建設株式会社
- * 株式会社 NIPPO
- * ニシオティーアンドエム株式会社
- * 鹿島建設株式会社
- * エフティーエス株式会社
- * 株式会社演算工房
- * 日立建機株式会社
- * 株式会社大林組
- * 富士電機株式会社
- * トヨタ自動車株式会社
- * 花王株式会社
- * 株式会社パトライト
- * 株式会社アトリエ
- * 東珠株式会社
- * 大和ハウス工業株式会社
- * 西松建設株式会社
- * IDEC 株式会社
- * NTT アノードエナジー株式会社
- * 日本認証株式会社
- * (国研)産業技術総合研究所
- * 株式会社トヨコー